

# ばんたねニュース

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL



VOL. 58

2024年  
11月24日発行

## マイナ保険証はお持ちでしょうか？

ばんたね病院でもマイナ保険証を利用できます!!

### データにもとづく 診療・処方

診療情報・服薬管理が可能!  
健康管理に役立ちます  
(提供に同意が必要です)



### 確定申告がラク

マイナポータルでの確定申告時に  
医療費控除が簡単にできる

### 高額療養費制度も スムーズ

手続きなしで高額療養費制度が  
自動適用されます  
(提供に同意が必要です)

マイナ保険証読み取り機は  
1階外来受付に設置してあります。

まずはマイナンバーカードを  
お持ちください。



# 難聴治療センター

音声によるコミュニケーションは人や社会とのつながりを保つのに必要不可欠であり、その中で聴覚は大きな役割を果たしています。また中年期以降の難聴は認知症発症に影響力の大きいリスク因子であることが近年の研究で明らかとなりました。



「テレビの音を大きくしないと聞こえない」、「ニュースはわかるけど、ドラマになると言葉が聞き取りにくい」、「大勢で話すときや、騒がしいとよく聞こえない」、「聞き返すのも気が引けるから、聞こえているふりをしてしまう」ということはありませんか？

## 「あなたの今のきこえを知ろう」

### 聞こえのチェックシート

当てはまる項目に  
レ印を付けてください

- 1 会話をしている時に聞き返すことがよくある。
- 2 後ろから呼び掛けられると気付かないことがある。
- 3 聞き間違いが多い。
- 4 見えない所からの車の接近にまったく気がつかないことがある。
- 5 話し声が大きいと言われる。
- 6 集会や会議など数人の会話でうまく聞き取れない。
- 7 電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくい。
- 8 相手の言ったことを推測で判断することがある。
- 9 騒音の多い職場や大きくうるさい音のする場所で過ごすことが多い。
- 10 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われることがよくある。

まずは耳鼻咽喉科を受診し耳の診察と聴力検査を受けてみてください。聞こえに影響する病気があり、治療可能ということもあります。特に加齢による聴力の低下は徐々に進行するため、自分では気づかないうちに周囲の人にきこえにくさを指摘されることもあります。あなたの今の聞こえを知ってください。



0~2個

現状は問題ないと思われませんが、「聴こえ」は急に衰えることもあります。定期的に耳鼻咽喉科(補聴器相談医)を受診し、耳の検査をしましょう。

3~4個

一度、耳鼻咽喉科(補聴器相談医)に相談してみてはいかがでしょうか。

5個~

できるだけ早く耳鼻咽喉科(補聴器相談医)の診察を受けることをおすすめします。

(日本補聴器工業会ニュースレターより引用)

## 代表的な対象疾患

耳漏(みみだれ)、難聴(きこえにくい)などの症状でお困りの方は是非ご相談ください。

- ・穿孔性中耳炎
- ・難治性の慢性中耳炎
- ・癒着性中耳炎
- ・中耳真珠腫
- ・耳硬化症
- ・老人性難聴



## 難聴の診療について

各種の聴覚検査に加えて、遺伝学的検査や、CTやMRIなどの画像診断を行うことで、難聴の病態を診断します。補聴器や人工内耳については認定補聴器技能者や言語聴覚士とともに指導、機器調整やリハビリテーションを行い、難聴診療に取り組んでいます。

### 【補聴器】

老人性難聴には、まだ有効な治療法はなく、補聴器が有効な手段となります。難聴を放置せずに、積極的に補聴器を使用して脳に刺激を入れて活用させることが大切です。

### 【人工内耳植込術】

人工内耳は世界でも普及している人工聴覚器の一つで、補聴器を使用してもほとんど聞き取ることができない難聴に対しては唯一の聴覚を再獲得する手段です。

## 「きこえをあきらめない」



歳のせいだからしょうがない、今は困っていないなどと難聴を放置すると、コミュニケーションに支障をきたすだけでなく、**うつ病や認知症の発症リスクにもつながります**。ご自身の今のきこえを知るという健康管理、大きな音を避けるなど予防対策、早期の補聴器装用や人工内耳装用できこえを保つことが重要です。きこえをあきらめないで、健康寿命を伸ばしましょう。

## 患者さんへのメッセージ



【専門分野】  
耳科学、めまい平衡医学  
【外来日】  
火・水曜日  
耳鼻咽喉科  
岡野 高之 教授

皆さまの聴力、耳の状態、経過を定期的に確認しながら、おひとりおひとりにあった継続的なきこえの治療、補聴機器のアドバイスを行なっています。ご紹介による受診に際しては、お気軽にお近くの診療所、医療機関、認定補聴器技能者のいる補聴器店にご相談ください。



# 市民公開講座 IN ばんだね病院 西棟

## 2024年9月7日に第74回 ばんだね病院健康セミナーが開催されました。

今回は「尿失禁を治そう!」と題し、当院の泌尿器科 深見 直彦 准教授 が講演、また体験シリーズとして「骨盤底筋を鍛える運動」を当院看護部 宮坂 久美子、須賀 栞がお話ししました。

当日はたくさんの方にご参加頂き、尿漏れを防ぐためにはどうすればよいかを学ぶ良い時間となり好評でした。



「次回は12月7日（土）脳神経外科 長谷部朗子先生の講演を予定」

詳細決まり次第、当院ホームページでお知らせすると共に、院内でチラシを配布いたします。お楽しみに!

## ♪病棟での三味線演奏会♪

### 2024年8月16日 入院中の「Tさん」による三味線演奏が開催されました。

Tさんは三味線師匠をされている方で、脳神経外科での開頭手術後10日目で三味線演奏が可能なまでに回復されました。

主治医である加藤庸子教授の提案をご快諾いただき、演奏会を開催することとなりました。

心温まる音色が病棟内に響き渡り、患者様やスタッフ一同、大変感動いたしました。

特に、長期入院中の患者さんにとっては、この演奏は大きな励みとなり、笑顔を引き出す貴重な時間となりました。

Tさんの素晴らしい演奏とご厚意に心より感謝申し上げます。



須原看護長 三味線師匠のTさん 加藤教授

藤田医科大学ばんだね病院

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL

〒454-8509 名古屋市 中川区 尾頭橋3丁目6番10号

TEL 052-321-8171 FAX 052-322-4734 発行 広報委員会

土曜日午前も  
診療しています。

二次元コードで今すぐアクセス

ばんだね

検索

